

前職で海外渡航を担当していたFPの井上がお話しします

海外旅行保険って必要なのでしょうか？

新型コロナの流行も落ち着き、そろそろ海外旅行を検討されている方もいらっしゃるかと思います。保険の観点から皆様へ情報をご提供させていただきます。

<はじめに>

パレスチナ自治区ガザを実効支配するイスラム過激派「ハマス」によるイスラエル奇襲攻撃後、世界各国で大規模なデモの実施、イスラム教・ユダヤ教支持者同士の衝突、ヘイトクライムが報告されています。

特に、年末年始等、人が多く集まる時期や場所では、不測の事態に巻き込まれるリスクが高まるため注意が必要です。

外務省海外安全ホームページは海外へ渡航される方向けのさまざまな情報を発信しています。旅行者向けの「たびレジ」に登録すると、旅先の最新情報が受信できますし、万一現地で事故や事件に巻き込まれても、迅速な支援に繋げることができます。

<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

<海外旅行保険って必要なの？>

クレジットカードに海外旅行保険が付帯しているから、別に加わらなくて大丈夫と思っている方もいらっしゃるかもしれません。

クレジットカードに自動で付帯している海外旅行保険は、カード会社の無料サービスのひとつで、必ずしも必要な補償額が備わっているわけではありません。医療先進国での治療費は軒並み高額になっており、数百万円かかるケースも珍しくありません。

医療水準の低い国で治療が必要になった場合は、日本や第三国への移送の可能性もあり、医療スタッフや医療を備えたチャーター機を使った場合、治療費に加えさらに高額な移送費用がかかる可能性も想定されます。

海外旅行保険で重要な補償は治療費用と救援費用ですので、ご自身のクレジットカードに付帯する治療費用・救援費用がいくらまで補償されるか確認することをおすすめします。

また、クレジットカードによっては、『利用付帯』と言って、旅行に関連する費用（航空機代、ツアー代や交通費など）を当該のクレジットカードで決済することで海外旅行保険の効力が発生するというものが多いです。

クレジットカードを所持しているだけでは、海外旅行保険に加入しているということにならない可能性があるため十分注意が必要です。

新型コロナにおけるパンデミック終息後の空港や旅客業務の人員不足など、以前と海外旅行を取り巻く環境に変化が起きており、様々な要因で預けた荷物が自分の手元に届かないリスクなども増えています。

身の安全を守る術の確認と併せて、何かあった時の困りごとを減らせるように備えることで旅行をより楽しむことができますので、ぜひ海外旅行保険もご検討ください。

空港のカウンターでも手続きはできますが、ネットで加入すると割安に保険に加入することができますのでおすすめです。当日まで申し込み可能です。

インターネット海外旅行保険「新・海外旅行保険【off!】」お手続きは当ホームページ内の海外旅行保険のバナーをお願いいたします。



このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容につきましては、「ご契約のしおり（約款）」「重要事項等説明書」などをご覧ください。詳細は、取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。

引受保険会社
損害保険ジャパン株式会社 企業営業第三部第一課
〒103-8255東京都中央区日本橋2-2-10損保ジャパン日本橋ビル5階
TEL 03-3231-4142（受付時間：平日9：00-17：00）

お問い合わせ先（取扱代理店）
昭光通商保険サービス株式会社
〒108-8504東京都港区芝浦3-1-1田町ステーションタワーN31階
TEL03-4363-1030
（受付時間：平日9:00-17:30年末年始・会社所定の休業日を除く）
メール：naho-inoue@shoko.co.jp

承認番号：SJ23-12206
承認日：2023/12/26

